

## 第10回 学習1

2019年度 前期  
心理学IC・ID  
第10回

担当者：工藤 大介

学習のメカニズムについて理解する

1.古典的条件づけとその応用について



### 1. ( ) (learning) とは何か

経験によって生じる  
比較的永続的な( )の変化



それまでできなかった  
ことができるようになる

#### ★薬物による一時的な変化

陸上選手が薬物を使用して短距離のタイムが縮んだとしても学習にはならない

しかし！

練習によってフォームを見直し、タイムが縮んだのであるならば学習の結果といえる

### ただし例外もあります...

#### ★遺伝的要因

戸棚にしまってある「おやつ」に手が届かなかった小さな子どもが、成長して戸棚に手が届くようになりおやつを自分で手に入れることができるようになった



遺伝によって仕込まれている  
「成熟」の結果であり学習ではない

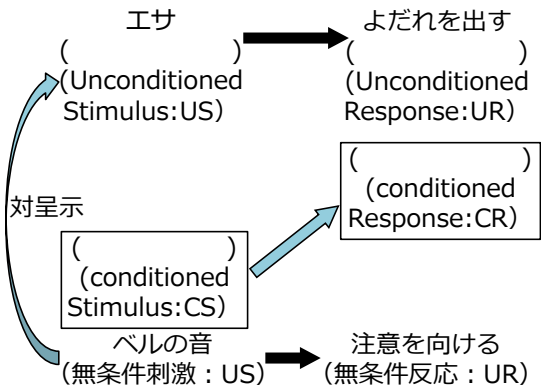
### 2-1. ( )とは？

以前に恐ろしい経験をした場所に行くと、思わず恐怖を感じることもある。経験を  
する以前は恐怖を引き起こさなかった場所が、恐ろしい経験をしたことにより恐怖の感情を引き起こすようになった

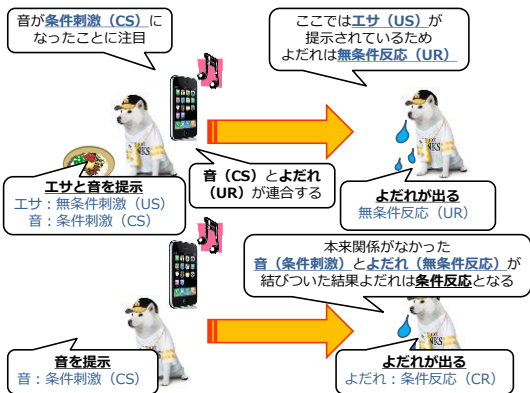
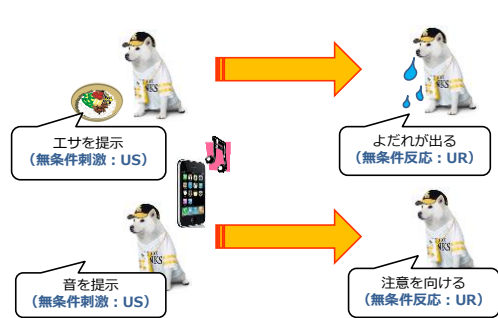


人の刺激に対する反応は経験によって変化していく。この種の反応の変容は古典的条件づけと呼ばれる。

## 2-2. 古典的条件づけによる学習



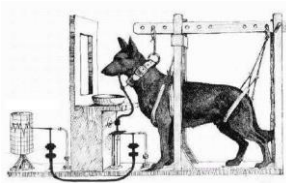
## 2-3. 古典的条件づけによる学習



## 参考：パブロフの犬



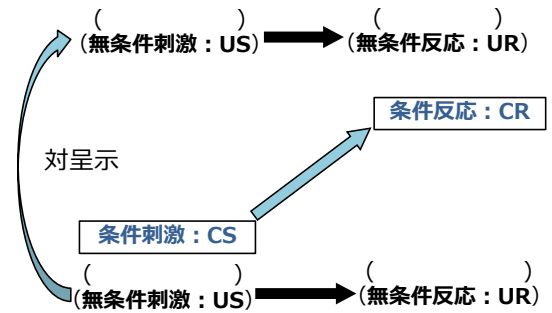
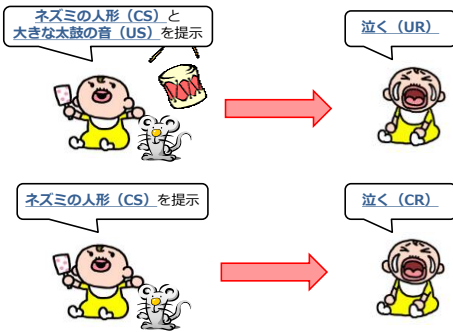
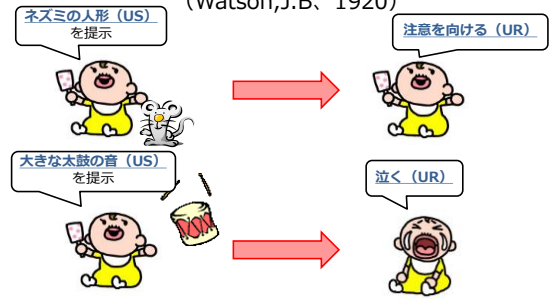
Иван Петрович Павлов (1849~1936)  
1904年に消化生理に関する研究でノーベル医学・生理学賞を受賞



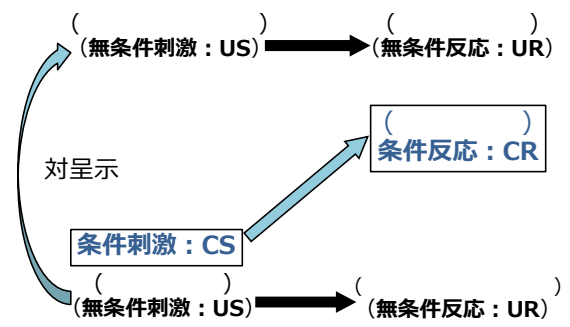
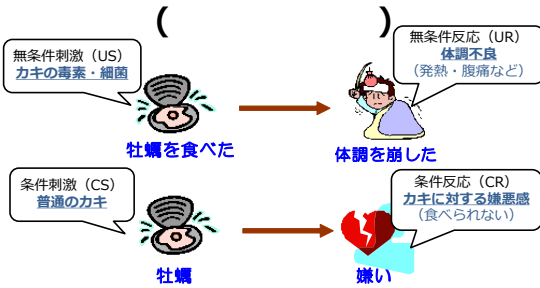
### 2-4. 古典的條件づけの例①

アルバート坊やの( )の実験

(Watson, J.B, 1920)

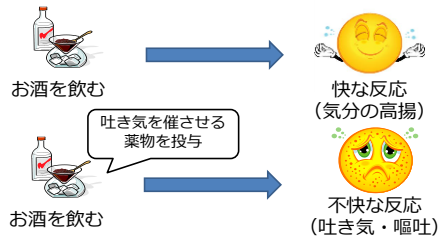


### 2-5. 古典的條件づけの例②



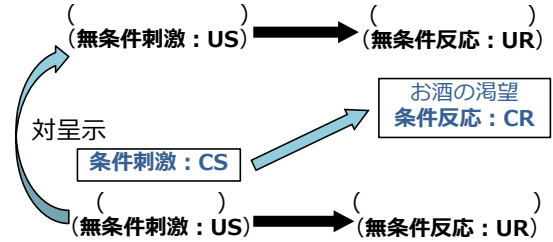
## 2-6. 古典的条件づけの例③

アルコール依存症の治療などに適応される  
アルコールを飲むと嘔吐を催させる薬物を投与

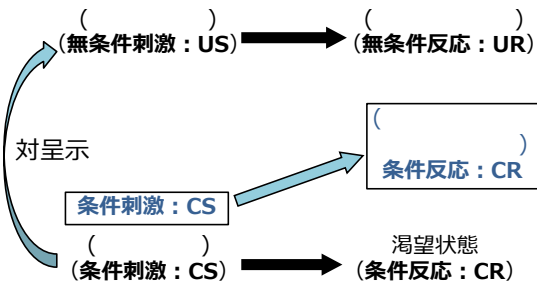


## 古典的条件づけの例③ 嫌悪療法

### 1. アルコール依存症のメカニズム



### 2. 嫌悪療法による再学習



## 2-6. 古典的条件づけの例④

薬物 (カフェイン) による古典的条件づけ  
(福田・青山, 2015)

